



日刊 動労千葉

國鐵千葉動力車勞働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号（動力車会館）
電話 { (鉄電) 千葉 2935・2939番
 (公) 043(222)7207番

97.4.7 No. 4576.

沖縄自争の特措法改悪、 止殺許す！阻止の4月自争へ

4・11特措法反対国会闘争
主催 反戦共同行動委員会
場所 日比谷野音
時間 18時30分

4・16特措法反対全国集会
主催 三者共闘（沖縄反戦地主会、一坪反戦地主会、
　　達憲共闘会議）
場所 東京・芝公園
時間 18時

ついて「国が最終的に責任を持つ仕組みを整備する」として、「米軍用地の期限が切れても」(1)収用委員会の審理中は使用できる、(2)収用委員会が申請を却下した場合も使用できる、(3)法施行以前にさかのぼつて適用し現在不法占拠中の土地（象のオリの知花さんの土地）も使用できる。沖縄県収用委員会がどんな裁決をしようが、なにがなんでも「安保のため戦争のために必要な土地は強制使用できる

軍用地特別措置法改正案」の闘議決定を强行し、国会に提出した。衆院特別委員会でただちに審議入りし、一日衆院一一七日参院通過のスケジュールで二四日の橋本訪米までに成立させると公言している。

これは、橋本政権による、朝鮮情勢を理由に在日米軍の削減要求さえ拒否し、基地の整理・統合というペテンさえかなぐりすてた、むきだしの沖縄武断統治だ。燃え上がる沖縄の島ぐるみの闘いは、日米の戦争政策の心臓部につき刺さり、労働者人民に未来への限りない勇気を与えていた。この中尾闘争は、時

だが、「問答無用」と書いて「法」と読ませるまでに支配の危機は深刻だということだ。「大失業と戦争の時代」、世界中で労働者の怒りが噴出し、戦後最大のゼネスト、デモとなつて爆発している。自信と確信をもつて起ちあがろう！

革マルの敵対を粉碎し、米軍特措法改悪阻止の四月闘争に総決起しよう！

三・二〇三里塚現地全国総決起集会が、一・六五〇名の結集をもつて開催された。

天気は、婦人行動隊長の郡司とめさんの言う「三里塚日和」だ。昨夜の雨のおかげで風はつよいが、土埃がたたずにすむ。今集会は、昨年一二月の「七空整」闘議決定と同時にうちだされた成田平行滑走路（B滑走路）の「二〇〇〇年完成」粉碎（一三里塚二期決戦完全勝利への総決起集会だ。

鬪争を庄毅する法律だ。同時に、有事における成田空港の軍事的役割が明らかとなつた。沖縄米軍用地とならぶ日米安保体制の支柱として、朝鮮有事に、成田空港は四〇万人規模の米軍兵士と軍事物資を受け入れる巨大な兵站基地に指定された。すでに米軍は有事に成田空港の定期便を全面ストップする計画や空港周辺で兵舎に転用できる建物や防空ミサイル設置場所の下見をしている。

集会では、これと対決し、三里塚一沖縄を結んで、四・五月安保・沖縄闘争の爆発から、今秋ガイドライン粉碎、一〇・一二三里塚全国集会へと、闘う方針が鮮明にうちだされた。

特別報告に、勤労千葉から田中書記長、沖縄から知花昌一さんが立つた、反対同盟の市東東市さんは二期決戦の完全勝利へ「生涯かけて闘う」決意を明らかにした。三里塚・沖縄・勤労千葉、勝利への道がはつきりしました、たいへんよい集会でした。



米軍用地特措法改悪の中身は
新たな戦時立法そのものだ。土
地収用委員会がどのような裁決
をしようが、却下されようが、
国家が必要とすれば強制使用が
絶対にやれるようにするもので
沖縄米軍基地存在の永久化法で
あり、沖縄差別法であり、沖縄

三里塚沖縄の連帯強化を 3.30全労集会

3.30鉅集

そして、「米軍用地特措法改正案反対、三里塚一沖縄の連帯強化を」との集会スローガンのとおり、沖縄軍用地特別措置法改正案破碎へ、四月国会闘争に全国から闘いをつくりだす第一波闘争としてかちとられた。

「空整」闇議決定と同時にうちだされた成田平行滑走路（B滑走路）の「二〇〇〇年完成」粉碎――三里塚二期決戦完全勝利への総決起集会だ。

特別報告に、動労千葉から田中書記長、沖縄から知花昌一さんが立った、反対同盟の市東東市さんは二期決戦の完全勝利へ「生涯かけて闘う」決意を明らかにした。三里塚・沖縄・動労千葉、勝利への道がはつきりしました、たいへんよい集会でした。